



牛乳パックを使った

かんたん着火!



国立能登青少年交流の家

材料・道具

- なた(革手袋、丸太などの台)・・・貸出可
- 1Lの牛乳パック(半分)・・・提供可

- 薪ひと束・・・購入可
- はさみ(牛乳パックを切る)・・・貸出可
- チャッカマン、マッチなど・・・貸出可

① 薪を割って太さのちがう薪を作る

【道具】



「なた」
素手で持つ



「革手袋」
利き手の
反対に使用

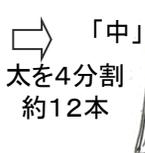
【薪の太さ】



「太」

そのままの太さ

ニンジンくらい



「中」

太を4分割
約12本

ごぼうくらい

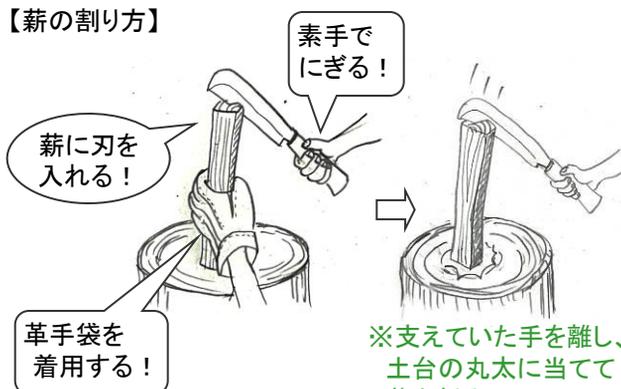


「細」

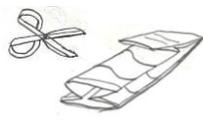
中を2分割
約3本

割り箸くらい

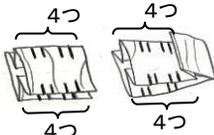
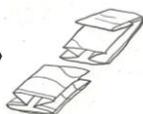
【薪の割り方】



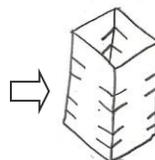
② 牛乳パックを切って、焚きつけを作る



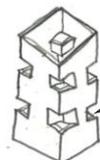
はさみで2つに切る。
一方を使用する。



切り込みを、
片側4つずつ入れる。



パックを開く。



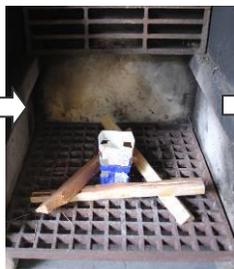
切り込みを押し込む。

完成!

③ 薪と牛乳パックを組む



太い薪を三角形に組む



牛乳パックを置く

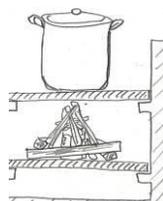


細い薪を鉛筆くらいの
長さに折って井形にし、
パックの上に置く

中くらいの
薪を立てて
組む



薪の高さが
高くなりすぎ
ないように
注意!



④ 着火する



牛乳パックに着火する



「細・中」薪に燃え移る

Point ※着火した牛乳パックが燃えつきないうちに「中」→「太」の薪をくべていく。
※すぐにくべられるように、たくさん準備しておく。火に勢いがついたら、太い薪でOK!
※おいしいご飯を炊くためには、強火を長時間維持する。一番火が強い場所に鍋を移動するのもコツの一つ。

プラスα



着火剤として松ぼっくり(まつかさ)が利用できる。松脂を含んでいるだけでなく、かさを開いた形も空気の通りがよいため適している。使用する場合は、乾いているものを牛乳パックに2~3個入れて燃やす。